

受け身形①

肯定文「～されます」

受け身形の肯定文は〈be 動詞+動詞の過去分詞形〉で表されます。



〈be 動詞+動詞の過去分詞形〉で表す

〈be 動詞+動詞の過去分詞形〉で、「～されます」という文になります。また、うしろに by …を置くことで、「…によって」と動作を行った人やものを明らかにできます。



◎ 受け身形の主語はThis cameraになるのでbe動詞はisが使われ、そのあとに過去分詞のusedが続きます。by (～によって) のうしろに入るのは、ふつうの文で「主語だった人」。代名詞が主語だった場合、主格のsheは、目的格のherに変化します。



過去分詞形は、現在完了のところでも使われた動詞の変化形。忘れちゃった人は156ページに戻ろう!

Young people love these songs.
(若い人たちがこれらの歌を愛しています.)

These songs are loved
by young people.

be 動詞+過去分詞形

(これらの歌は若い人たちに愛されています.)

- ◎ 主語になるthese songsは複数形なので、be動詞はareになります。

Your father often speaks to me.
(あなたのお父さんはしばしば私に話しかけます.)

I am often spoken to
by your father.

be 動詞+過去分詞形

(私はあなたのお父さんにしばしば話しかけられます.)

- ◎ speak toは、動詞と前置詞がセットになった形で「～に話しかける」という意味を表しています。受け身形にするときもこの組み合わせをくずさないようにしましょう。

✗ I am often spoken by your father.

